

平成20年10月吉日

第2回ふるさとのジャズ交流祭 in 斑尾

平成20年7月26日（土）～27日（日）斑尾高原

報告書

ふるさとのジャズ交流祭実行委員会

代表： 新山 敏

全国のジャズ愛好家が結集した「第2回ふるさとのジャズ交流祭 in 斑尾」は、7月26日（土）・27日（日）の二日間、新潟・長野両県にまたがる斑尾高原でおこなわれました。ジャズの聖地・斑尾に再びジャズの響きがこだまし、大自然をバックに練習、ステージ演奏交流など様々な活動が、涼風わたる高原で繰り広げられました。

このイベントは地元で育ったジャズの伝統を引き継ぎ、次代に継承せんと参加と交流をテーマに地元の活性化のために立ち上げた手作りの作品であります。ペンションオーナーを中心に東京の舞台設営・監督、装飾、照明、音響、司会、舞台裏管理などの専門家や音楽家などが協力し、地元ホテル・スキー場の支援を得て作り上げたイベントであります。これら関係者のボランティアズムに根ざした貢献がその基盤となっています。

会場設営は3日間をかけ地元自治体等から借り受けたテント・イス・テーブルなどの搬入、舞台装置の搬入、販売ブース設営、舞台設営などペンションオーナーと舞台専門家達の協働作業が行われました。今回は舞台裏管理、会場の夜間警備などに特別配慮をし、祭典のスムーズな運営を期しました。東京の専門家グループと地元宿泊施設オーナーとの連携が始まっています。この協働も交流のひとつであり、今後の開催に大きな基盤となるでしょう期間中、にわか雨などありましたが、トラブルは有りませんでした。

25日（金）に予定した前夜祭は、直前に変更し、26日（土）に「斑尾ジャズ交流祭」として開催致しました。ほぼ全演奏グループが参加し、これまでにない賑やかなパーティーとなりました。参加団体の演奏があり、ペンションの奥さんやホテルのシェフ手作りの料理と協賛企業からの飲み物を楽しみながら交流が行われ、会場は熱気で充ち溢れました。

今年の参加グループは19団体で、その内10グループがビッグバンドでした。2日間の参加者総数は約800人に達しました。そのうち演奏者数は238人にのぼりました。昨年に続いて参加したのは10団体でした。来年は更に参加が増える見込みです。プロのグループが2つあり、アマ・プロの垣根を越えた催しとなりつつあります。又新たにゴスペルクワイヤーや昨年に続いてサンバグループもあり、他の音楽ジャンルへも広がる気配があります。特別企画として、サイドカー付オートバイに演奏者、地元の子供達を乗せたパレードを行い、会場でニューオルリーズ被災ミュージシャンへの募金を行いました。「ヤマハ親子ジャズ教室」も地元子供達に喜ばれ、沢山の参加者を得ました。

最後に、暖かいご支援・ご協力をいただきまして心よりお礼を申し上げます。今後とも宜しくご指導の程お願い申し上げます。

以上

第2回ふるさとのジャズ交流祭 in 斑尾

フォト ライブラリー

